

令和4年度
事業報告書

令和4年4月 1日から
令和5年3月31日まで

公益財団法人 あきた移植医療協会

I 令和4年度事業の実施状況

1. 概要

平成9年(1997年)に臓器移植法が施行され、脳死下での臓器移植が行えるようになった。また、平成22年の改正臓器移植法の施行で、本人の意思が不明な場合であっても、家族の承諾による脳死下での臓器提供が可能となり、提供件数が増加傾向となっていた。

しかし、令和2年の新型コロナウイルス感染症のパンデミックと、その長期化の影響によって、眼球を除く臓器の提供件数は激減状態が続いた。

令和4年に入るとウィズコロナも定着し、社会や経済活動が再び動き出したことで、臓器提供件数もコロナ禍前に近い状況まで回復してきた。

本県において令和4年度は、心停止後臓器提供が6年振りに1件発生したほか、県外からの提供が1件、角膜提供が4件あったものの提供件数の少ない状況が続いている。

このため、移植医療の推進を担う県内唯一の公益法人として、新型コロナウイルス感染症の状況に留意するとともに、関係機関・団体と連携し、臓器及び角膜移植等に関する普及啓発と移植医療を取り巻く環境整備、支援等に努めるべく各種事業を実施した。

令和4年度事業の実施状況は、次のとおりである。

2. 普及啓発事業

(1) グリーンリボンキャンペーン 2022 in AKITA

移植医療や臓器移植に対する理解を深めるため「臓器移植普及推進月間」に合わせて、県民を対象とした市民公開講座をYouTube(オンデマンド配信)で行った。

テーマ：「移植医療の現在と未来」

期間：令和4年9月26日～10月31日

内容：①「ロボット支援手術の現在・未来と生体腎移植」

講師・羽渕 友則(秋田大学大学院医学系研究科長医学部長 教授)

②「角膜移植の現況と未来」

講師・岩瀬 剛(秋田大学大学院医学系研究科眼科講座 教授)

視聴数：232回(①+②)

(2) 街頭キャンペーン

臓器移植に対する理解と普及啓発を図るため「臓器移植普及推進月間」と「眼の愛護デー」に合わせて、県腎臓病患者連絡協議会やライオンズクラブ等との共催で、一般通行人を対象に、意思表示についての啓発資材(ポケットティッシュ)

の配布を行った。

日 時：令和4年10月11日（火）、17:30～18:30

場 所：秋田駅東西連絡自由通路（ぼぼろード）

配布数：1,500個

(3) 種苗交換会・普及推進キャンペーン

移植医療の周知や献眼登録、県民の意識等を調査するため、地元のライオンズクラブと県腎臓病患者連絡協議会の協力を得て、ブース展示や資材の配布に加え、来訪者へ意思表示等のアンケート調査を実施した。

日 時：令和4年10月29日～11月4日（7日間）

会 場：大曲武道館（大仙市役所隣）

結 果：ポケットティッシュ3,000個配布、アンケート959回収

(4) グリーンリボンライトアップ

移植医療への意識啓発を図るため「臓器移植普及推進月間」に合わせて、移植医療のシンボルカラーであるグリーンで建物等をライトアップし、普段とは違った景観を通じて、県民に移植医療の周知を行った。

日 時：令和4年10月11～23日、17:30～25:00

建物等：ABS 本社&電波塔

(5) 新聞への広告掲載

「臓器移植普及推進月間」に開催する市民公開講座やライトアップなどの行事告知に加え、健康保険証等での意思表示についての周知を図るため、秋田魁新聞の「さきがけ情報プラザ」に広告を掲載した。

掲載日：令和4年9月26日（月）

(6) 臓器不全の予防に関する普及啓発事業の実施

腎臓病に対する知識の普及と臓器移植に対する理解を深めるため、県腎臓病患者連絡協議会と共催で「腎臓病を考える集い」を開催した。

日 時：令和4年12月11日（日）、14:00～15:30

会 場：秋田テルサ 5階 第3会議室

内 容：講演「腎臓を守るために必要なこと ～透析に至らないように～」
講師・齋藤満（秋田大学医学部附属病院血液浄化療法部准教授）

(7) 「いのちを考える学習会」の開催

児童・生徒等に移植医療を知ってもらうため、学校等からの依頼に応じて「いのちを考える学習会」を開催した。

①秋田大学医学部保健学科、令和4年5月11日（水）、Zoom活用、107名

②横手清陵学院中学校、 令和4年11月9日(水)、Zoom活用、 61名

(8)イオングループの応援登録団体への登録

イオングループが、社会貢献活動として実施している「幸せの黄色いレシートキャンペーン」*の応援登録団体への登録を行った。

※毎月11日(イオンデー)に、投函されたレシート金額の1%が団体に贈呈される。

(9) グリーンリボンサポーター事業の実施

移植医療の普及啓発を企業や団体単位で進めるため、企業等に働きかけ当該趣旨に賛同いただいた企業等を「グリーンリボンサポーター」と認定し、各種啓発資材等を供与するとともに、それらを活用した自主的な活動を支援した。

新規加入：14団体(累計：59団体)

3. 相談・助言に関する事業

県民を対象に、角膜移植を含め移植医療全般についての疑問・質問・相談等に対し、電話やメール、面談等により対応することに加え、医療関係者からの移植医療制度やマニュアル改訂等の相談に対応した。

実績：20件

4. 臓器移植環境整備事業

(1) 合同研修会の開催

臓器移植の知識習得や、具体的な事例を想定した症例検討、病院間の情報交換等を図るため、重要な役どころでありその連携が求められる「院内臓器移植コーディネーター」と「医療ソーシャルワーカー」を対象に、研修会を開催した。

日時：令和4年10月7日(金)、15:00~16:30

会場：なかいち 多目的ホール

内容：①報告「県内における心停止後臓器提供症例について」

当協会臓器移植コーディネーター 佐々木 聡

②講演「入院時重症患者対応メディエーターの意義と活動状況」

講師・名取良弘(飯塚病院特任副院長・脳神経外科部長)

参加者：31名

(2) 移植医療推進委員会の開催

県内移植医療の推進を図るため、移植医療関係者による「移植医療推進委員会」を設置し、普及啓発や院内体制整備等の様々な課題について、それぞれの立場からの示唆や提言・議論を行った。(Zoom ミーティングを活用した Web 会議)

①第1回

議 題：「県内の事例報告と国内の動向」

日 時：令和4年7月22日（金）、16:00～17:00

出席者：11名 ※全委員13名

②第2回

議 題：「令和4年度事業報告と新年度事業案」

日 時：令和5年1月24日（火）、17:00～18:00

出席者：12名

(3)脳死下臓器提供に係る関連団体連絡会議の開催

脳死下臓器提供事例が発生した場合に、混乱なく本人・家族の意思に沿った提供ができる体制の確認と各種情報の共有を図るため、関連団体の連絡会議を4年ぶりに開催した。

日 時：令和4年8月29日（月）、14:00～16:00

会 場：アルヴェ 2階多目的ホールA

議 題：①臓器提供の現状 ②臓器搬送 ③虐待対応
④検視対応 ⑤転院搬送他

出席者：30名

(4)入院患者に対する意思表示啓発資料の配付

移植医療への理解と臓器提供に関する意思表示を推進するため、協力を得た医療機関に限定し、全ての入院患者に意思表示啓発資料を配付した。

実 績：14病院（24,100配布）

(5)病状説明支援事業の実施

人生の最終段階（旧：終末期）となった患者の家族を対象に、患者の希望を尊重したうえで家族も納得のいく最後となるよう、現在の病状説明や今後取りうる対応等をまとめたリーフレットを、協力を得た医療機関に限定し配布した。

実 績：6病院

(6)臓器提供に関する情報紙の作成

医療従事者等から患者への情報提供を支援するため、臓器提供に関する情報を掲載したリーフレットを改定し、医療機関へ配布した。

実 績：26救急告知医療機関（各100部）

(7)院内臓器移植コーディネーター設置病院の訪問等

それぞれの医療機関が抱える課題や疑問等に対応するため、当協会の臓器移植コーディネーターが院内臓器移植コーディネーター設置病院等を訪問し、国

内の動向や課題解決に向けた情報の提供・収集・意見交換等を行う。

実績：5医療機関（全15病院）

(8)透析施設への情報提供

移植医療に関わる経費負担等を軽減するために、当協会が実施している助成事業等についての周知をはじめ、慢性腎不全の治療法に関する資料集を作成、送付した。

実績：県内全施設（43施設）

(9)臓器提供等への対応（隣県支援を含む）

臓器提供事案を円滑に進めるため、臓器提供に関する家族への説明や、提供から移植までの手続き、提供施設から移植施設までの臓器搬送、提供後の家族ケアなど、ドナーとその家族への対応を24時間態勢で実施した。

実績：11件（提供1、家族対応6、隣県支援3、講師依頼1）

5. 眼球あっせん等に関する事業

(1)眼球提供者等の登録

献眼登録者の増加を図るため、市町村やキャンペーン等を通じてパンフレットを配付し献眼登録を呼びかけるとともに、登録希望者の受付、登録、登録カードの発行を行った。また、移植希望者についても登録を行った。

実績：献眼登録 6件（累計770人）

移植希望登録3件（待機者9人） ※R5.3.31現在

(2)角膜、強膜のあっせん

登録者からの眼球摘出と、移植を希望する患者へ角膜等のあっせんを行った。

実績：提供4眼（2名）、移植3眼（3名）

(3)献眼登録者に対するフォローアップの実施

献眼登録者の尊い意思が献眼に確実に結びつくようにするため、登録者を対象に、献眼に関する資料と協会だよりなどを配布した。

6. 情報提供事業

(1)機関紙の発行

当協会の取組等を周知するため「あきた移植医療協会だより」を3,700部作成し、賛助会員や医療機関、公共施設、行政等へ配布した。

(2)協会ホームページの運営

定期的に（1回以上/月）更新し、国内の移植医療に関する情報等を県民に

提供した。

7. 助成事業

臓器提供遺族に対する敬弔金の支給や組織適合（HLA）検査に対する助成、臓器摘出費用助成事業等を実施した。

実績：①臓器提供遺族に対する敬弔金	2件
②組織適合（HLA）検査に対する助成金	2件
③臓器提供費用助成金	1件
④眼球摘出等協力医師謝金	3件

8. 調査・研究事業

(1) アンケート調査の実施

県民の移植医療に対する意識を把握し、普及啓発活動の参考にするため、キャンペーン等を通じて「移植医療について」のアンケート調査を実施した。

実績：①重症者救急搬送の実態調査 ②意思表示等の意識調査（再掲）

(2) 情報収集

日本臓器移植ネットワークや日本アイバンク等が開催する各種会議、研修会並びに移植関連学会等に参加し、情報収集するとともに、コーディネート技術の習得等に努めた。

II 令和4年度 法人運営

令和4年度の法人運営状況は、次のとおりである。

1. 理事会の開催

(1) 第1回理事会

開催日時：令和4年5月17日（火）、17:00～18:05

開催方法：Zoom ミーティングを活用した Web 会議

決議事項：①令和3年度事業報告及び決算の承認

②基本財産の一部処分の承認

③定款の変更の承認

④特定資産への繰入の承認

⑤令和4年度収支補正予算案の承認

⑥副理事長の選定

⑦顧問の選任

⑧令和4年度第1回評議員会の日程等

出席者等：決議に必要な出席理事の数5名、出席8名、欠席1名
監事出席2名

(2) 第2回理事会

期 日：令和4年6月14日（火）

開催方法：決議の省略による方法

決議事項：①令和4年度第1回評議員会の実施方法の変更

②決議があったとみなされる日

出席等：提案書に対し、理事8名全員による同意の意思表示及び監事2名
全員から書面による異議がないことの意味表示を得たことから、理
事会の決議があったものとみなされた。

(3) 第3回理事会

期 日：令和4年7月20日（水）

開催方法：決議の省略による方法

決議事項：①決議の省略の方法による令和4年度第2回評議員会の日程等

②決議があったとみなされる日

出席等：提案書に対し、理事8名全員による同意の意思表示を得たことか
ら、理事会の決議があったものとみなされた。

(4) 第4回理事会

期 日：令和4年9月20日（火）、17:00～17:30

開催方法：Zoom ミーティングを活用した Web 会議

決議事項：検査費用助成金交付規程の一部を改正する規程の承認
出席等：決議に必要な出席理事の数5名、出席9名、欠席1名
監事出席2名

(5) 第5回理事会

期 日：令和5年3月3日(金)、17:00～18:00

開催方法：Zoom ミーティングを活用した Web 会議

決議事項：①令和4年度収支補正予算案の承認
②令和5年度事業計画案及び収支予算案の承認
③特定資産の一部処分の承認

出席等：決議に必要な出席理事の数5名、出席9名、欠席1名
監事出席1名、監事欠席1名

2 評議員会の開催

(1) 第1回評議員会

期 日：令和4年6月28日(火)

開催方法：決議の省略による方法

決議事項：①令和3年度事業報告及び決算の承認
②基本財産の一部処分の承認
③定款の変更の承認
④理事の辞任に伴う補欠理事の選任
⑤評議員の辞任に伴う補欠評議員の選任
⑥決議があったとみなされる日

出席等：提案書に対し、評議員9名全員による同意の意思表示を得たことから、評議員会の決議があったものとみなされた。

(2) 第2回評議員会

期 日：令和4年8月3日(水)

開催方法：決議の省略による方法

決議事項：①監事の辞任に伴う補欠監事の選任
②決議があったとみなされる日

出席等：提案書に対し、評議員10名全員による同意の意思表示を得たことから、評議員会の決議があったものとみなされた。

3 監査会の開催

期 日：令和4年4月26日(火)、13:30～15:00

開催場所：秋田県総合保健センター 第3研修室
内 容：令和3年度事業及び決算の監査
出 席 等：監事出席2名

4 登記事項

令和4年7月7日登記

- ・齋藤満評議員の辞任（3月11日）
- ・藤山信弘評議員の就任（6月28日）
- ・齋藤満理事の就任（6月30日）

令和4年8月22日登記

- ・井上よしえ監事、村上健司監事の辞任（6月30日）
- ・智田邦英監事、山岡ふき子監事の就任（8月22日）

5 届出・報告事項（届出・報告先 秋田県）

令和4年6月28日

- ・令和3年度事業報告書等の提出

令和4年8月25日

- ・役員等の変更届の提出

令和5年3月15日

- ・令和5年度事業計画書等の提出

臓器移植コーディネーター、アイバンクコーディネーター活動報告書

項目	実績	内容
1. 普及啓発事業 (1) イベント開催 (2) 講師依頼 (3) 啓発資材配布	4回 4件 753カ所	・街頭キャンペーン、グリーンリボンキャンペーン、グリーンリボンライトアップ、種苗交換会 ・いのちを考える学習会、秋田県警察学校、山形県院内臓器移植 Co 連絡会議 ・県市町村、医療機関、グリーンリボンサポーター等 啓発資材配布部数：約 47,190 部
2. 相談・助言に関する事業 (1) レシピエント関係 (2) 献眼関係	11件 9件	・移植医療に関する相談対応 ・献眼登録等に関する相談
3. 臓器移植環境整備事業 (1) 研修会・会議の開催 (2) 院内 Co 設置病院等訪問 (3) 透析施設資料配付等 (4) 臓器提供の情報 (5) 他都道府県支援 (6) 臓器提供の対応 (7) 提供者家族支援	4件 93回 43件 4件 2件 1件 6件	・院内臓器移植 Co・MSW 合同研修会、移植医療推進委員会、脳死下臓器提供に係る関連団体の連絡会議 ・秋田大学病院、秋田赤十字病院、中通総合病院等 ・HLA 検査一部助成事業等に関する資料配付 ・臓器提供の可能性があった情報（うち2件家族へ説明） ・脳死下臓器提供におけるあっせん支援、腎臓搬送 ・心停止後臓器提供 ・移植を受けられた方々の報告等
4. 眼球あっせん等に関する事業 (1) 眼球提供者等の登録 (2) 角膜、強膜のあっせん (3) 病院訪問 (4) 献眼対応	6件 3件 28件 7件	・アイバンク登録証、アイバンクカードの作成等 ・角膜3件 ・アイバンク医療機器等の確認 ・献眼、感謝状贈呈、移植経過報告等
5. 情報提供事業		・協会 HP 運営、協会だより発行、秋田市広報掲載
6. 調査研究事業 (1) 会議、研修会、学会等 (2) アンケート調査	14件 1件	・A 級臓器移植 Co 研修会、北海道・東北臓器移植 Co 会議、全国都道府県臓器移植 Co 会議、臓器提供連携体制構築事業合同カンファレンス、ガイドライン改正説明会、日本移植学会、日本臨床腎移植学会、秋田県腎不全研究会、全国アイバンク連絡協議会、北海道・東北アイバンク広域連絡協議会 ・医療機関での重症者救急搬送の実態に関する調査

令和4年度事業報告書には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和5年4月

公益財団法人 あきた移植医療協会